

【今週の注目疾患】

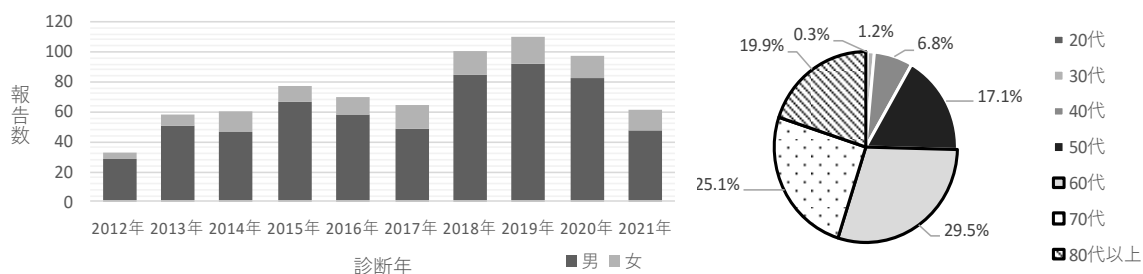
《レジオネラ症》

2021年9月1日に市原保健所管内より本年1例目となるレジオネラ症死亡事例が発生した。患者は70代男性で、感染経路は不明である。

2012年から2021年第40週までのレジオネラ症患者累計報告数は732例となった。性別では男性が608例（83%）、女性が124例（17%）であり、男性が多い。年代別では、60代が216例（29.5%）と最も多く、70代が184例（25.1%）と続き、60代以上が全体の75%を占めた。

新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、県内では一部の感染症に著しい減少が認められているが、本症については散発的に患者発生が続いており、引き続き注意が必要である（図1）。

図1：2012年から2021年第40週までのレジオネラ症患者報告数及び年代別割合（N=732）



原因病原体は、土壌や水など自然環境にひろく存在するレジオネラ属菌である。特に高齢者、新生児、大酒家、喫煙者、透析患者、移植患者や免疫機能低下者は、罹患すると肺炎を起こして重症化するリスクが高いとされている¹⁾。代表的な感染経路は、レジオネラ属菌に汚染された水や湯のエアロゾル（細かい霧やしぼき）を吸い込むことによる水系感染と土ぼこりなどを吸い込むことによる粉塵感染である^{2)、3)}。

エアロゾルを発生しうるものとしては、冷却塔や気泡発生装置（ジャグジー）があるが、家庭における感染が疑われる事例もある。洗車、野菜への水噴霧、土や腐葉土を使用する園芸作業などレジオネラ属菌を吸い込む可能性がある作業時にはマスクの着用が予防に有効である^{2)、3)}。また、加熱を伴わない加湿器（特に超音波式の加湿器）はタンクの水をつぎ足さず、毎日交換する、バイオフィーム（ぬめり）が発生しないようこまめに洗浄・消毒する、乾燥させる時間を作るなどの管理が重要である。

《梅毒》

2021年第40週に県内の医療機関から梅毒の報告が6例あった。累計報告数は167例となり、近年で最も多かった2018年の164例を超えて、過去10年間で最多となった（図2）。性別では男性109例（65.3%）、女性58例（34.7%）であった。年代別では、男性は20代28例（26%）、40代26例（24%）、30代25例（23%）の年代で多かった。女性は20代が29例（50%）と半数を占めており、30代9例（16%）、40代7例（12%）、10代5例（9%）であった。なお、2021年においては、これまでのところ先天梅毒の症例は報告されていないが、近年女性は特に20代の増加が顕著であり、先天梅毒の発生には十分注意する必要がある（図3）。

図2：2012年から2021年第40週までの県内梅毒患者報告数及び性別割合（N=1156）

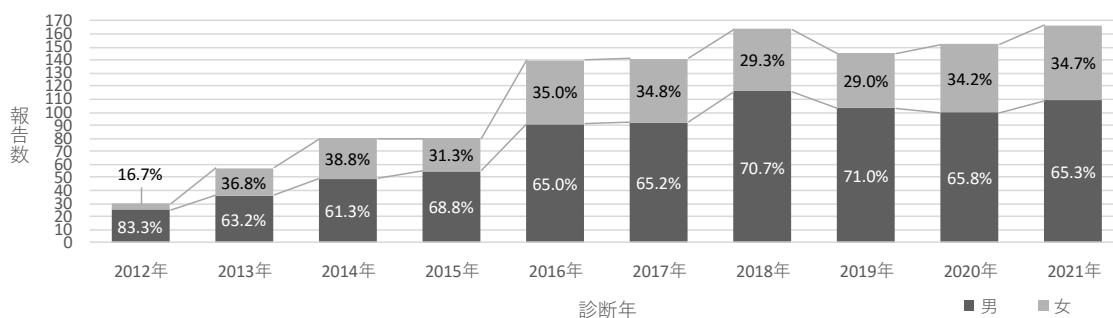
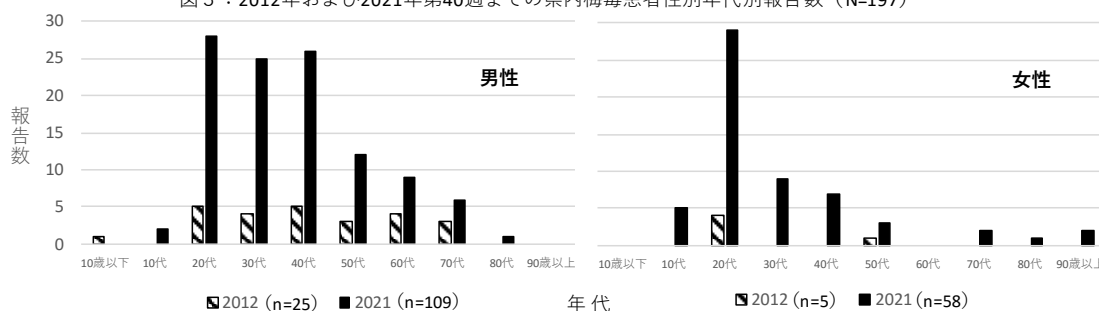


図3：2012年および2021年第40週までの県内梅毒患者性別年代別報告数（N=197）



梅毒の病原体は螺旋状菌の梅毒トレポネーマである。主な感染経路は粘膜の接触を伴う性行為や疑似性行為である。梅毒は感染後3～6週間程度の潜伏期を経て、継時的に様々な臨床症状が逐次出現する。症状が軽快する時期があり、治療開始の遅れにつながるため注意が必要である⁴⁾。

予防は菌を排出している感染者と性器や口腔、肛門を接触させる性行為や疑似性行為を避けることが基本である。

治療は早期に薬物治療を開始することが重要となる。異変を感じた場合や心配なことがある場合には早めに検査を受け、早期発見・早期治療に繋げることが重要である。県では、匿名で無料の検査を受けることができる⁵⁾。また、梅毒は再感染をする可能性があるため、パートナーも共に検査をうけることが推奨される。

■参考

- 1) 厚生労働省：レジオネラ症
https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_00393.html#Q4
- 2) 千葉県：レジオネラ症とその予防対策
<https://www.pref.chiba.lg.jp/eishi/koushuueisei/shisetsu/rejionera.html>
- 3) 国立感染症研究所 感染症情報センターIASR:レジオネラ症
<http://idsc.nih.go.jp/iasr/29/346/tpc346-j.html>
- 4) 国立感染症研究所：梅毒とは
<https://www.niid.go.jp/niid/ja/kansennohanashi/465-syphilis-info.html>
- 5) 千葉県：梅毒の検査情報
<https://www.pref.chiba.lg.jp/shippei/kansenshou/aids/soudan.html>